

可能性高まる名古屋市合併！

名古屋市との合併検討

北名古屋市、市長きょう表明

愛知県北名古屋市が南に隣接する名古屋市との合併を検討することが分かった。長瀬保市長は合併に意欲的で、一日の市議会定例

会で前向きな姿勢を初めて表明する。

九月下旬に十八歳以上の市民四千人に実施する市の総合計画のアンケートで合

併を初めて項目に挙げる。名古屋市や清須市、豊山町など近隣市町を選択肢に合併への意思を尋ねる。

北名古屋市はほぼ全域が

■防災とリニア

二〇〇六年に師勝町と西春町が合併し、北名古屋市が誕生して十年。同市は名古屋市近郊で比較的、地価が高く、固定資産税収入が多い。合併後、人口は六千人余り増え、財政は安定している。

それでも長瀬市長が合併を検討する第一の理由が、災害時の「スケールメリット」だ。〇〇年の東海豪雨当時、長瀬氏が町長だった旧師勝町は数百人の職員で被災者支援や復旧に苦戦。職員が数万人の名古屋市は被害のない地域の人材や車が被災地へ出動した。

南海トラフ大地震が懸念される中、長瀬氏は「小さな市では苦しいのでは」と危ぶむ。

もう一つがリニア中央新幹線開業を見据えたまちづくり。再開業が進む名古屋駅から北名古屋市中心部にある西春駅まで名鉄犬山線で十分。「地域全体で取り組んでいきたい」との思いがある。

既に名古屋市、豊山町と共同で二〇年の稼働を目標に、北名古屋市内に新ごみ処理施設を建設中で、合併意欲を後押ししている。

北名古屋市長が

名古屋市との合併検討を表明

★理由の一つは、災害時のスケールメリットの違い

★市民は、交通・行政サービスへの期待
= 議員も一緒になって推進 =

河村市長





今年3月の北名古屋市制10周年記念式典で、祝辞を述べる河村・名古屋市長着。左は長瀬市長＝北名古屋市文化勤労会館で

は年埋町多園

▲平成28年9月1日 中日新聞掲載抜粋

◀平成28年10月14日 中日新聞掲載抜粋

「こんな嬉しいことはない。はよ、結婚せないかんですよ」
と発言

・・・北名古屋市の意向を受けて名古屋市議会は、
大都市制度・広域連携促進特別委員会で議題に・・・

首長や議会が一緒になって推進することが実現への近道

この新聞記事から首長や議会が一緒になって望めば、名古屋市との合併が可能だ、ということが解ります。名古屋市合併を目指す「チーム to 名古屋」は、さらに実現に向けて努力してまいりますので、町民の皆様のご協力を、よろしくお願いします。

地域のニューリーダーを
求めています。

連絡先：0567-96-1056(中村まで)

名古屋市との合併を目指す
「チーム to 名古屋」